

北里大学理学部同窓会報

2014年 第17号



平成25年度 定期総会集合写真

● CONTENTS ●

沼上会長挨拶……………	P 3	カミングホーム2013……………	P 10
新任のご挨拶……………	P 4	同期会報告……………	P 12
退任のご挨拶……………	P 5	集会援助手続……………	P 12
平成25年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 6	活躍する同窓生……………	P 13
理学部教職員と同窓会役員との懇談会開催……………	P 8	北里柴三郎記念館に行ってきました……………	P 14
卒業研究功労賞……………	P 8	オープンキャンパス等日程、入学試験日程……………	P 16
就職ガイダンス……………	P 9	理学部事務室より……………	P 17
理学部への寄贈品について……………	P 9	就職センター、同窓会からのお願い……………	P 19



北里大学

—— オリジナルクッキー ——



パルミジャーノレジャーノ、フランボワーズ、カフェアマンド、フィユブラリネ、パニーユ、ショコラアマンド (缶入)

19個入 税込 **¥1,000**

パルミジャーノレジャーノ、フランボワーズ、フィユブラリネ、カフェアマンド、パニーユ、ショコラアマンド、ピスタチオ、カフェアマンド、アマンド (缶入)

33個入 税込 **¥2,000**

洋菓子コロンバン製

北里ライフショップでは、上質でとてもおいしいオリジナルビスケットを販売しております。ご自宅用・ご贈答用にぜひご利用ください。全国へ発送も請け賜っております。お電話またはホームページよりご依頼下さいませ。

●新オリジナル商品●

北砂糖 (キタサトウ) 350円 (税込)

ドンネル君をあしらったブルーベリー味の砂糖菓子です

サクマデコドロップス 400円 (税込)

サクマドロップスとコラボ。北里大学記念事業ロゴバージョンです



北里ライフショップ

営業時間：月～金 8：30～18：00 土曜日 8：30～14：00

※第2・第4土曜日、日曜・祝日は休業

相模原キャンパス内L2号館東側 TEL 042-778-7891 FAX 042-777-6380

URL: <http://kitasato-life.co.jp>



Kitasato 100×50、さらなる母校の発展のために

理学部同窓会会長 沼上 清彦

皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、母校北里大学は昨年（2012年）が創立50周年、そして来年（2014年）は北里研究所が創立100周年の節目にあたり、学校法人北里研究所は、現在周年記念イベント“Kitasato100×50”のさなかにあります。ちなみに本年（2013年）は学祖北里柴三郎先生の生誕160年にあたります。

これに関連して学校法人から皆さまに、寄附の要請などが寄せられているものと存じますが、卒業生としてできる範囲でのご協力をよろしくお願い申し上げます。

本会もこれに同期したイベントとして、「カミングホーム2013」を企画し、9月21日に教職にある北里大学OBにお集まりをいただき、理学部の広報を兼ねて、教職を目指す在校生との交流や理学部との意見交換をさせていただきました。

個人的には、“Kitasato100×50”の期間中、2010年に相模原の新L1号館の竣工記念を兼ねたキックオフパーティー出席し、旧北里研究所本館の博物館明治村移築30周年にちなんだ保存修理工事の竣工を記念した特別展、「北里柴三郎記念展」のオープニングセレモニーにも出席をさせていただきました。

2012年には熊本県小国町が開催した「博士の歩いた道を歩こう」というイベントに参加し、豪雨の中、阿蘇山麓を北里大学同窓会熊本県支部長の林勝次郎氏や同福岡県支部長の片岡恭一郎氏らと歩きました。これは北里柴三郎先生が13歳の慶応2年に儒学者田中司馬に入門するため、小国町から熊本までの62kmを徒歩で移動した道の一部を歩みながら博士の威徳を偲ぼうというものでした。そして本年（2013年）11月には学校法人北里研究所が開催した記念式典・記念講演会及び記念祝賀会にも出席する栄を得ました。

加えて衛生学部化学科6期生の同期会を思い出

の白金の地で、昨年、本年と連続で開催できたことも嬉しい出来事でした。丁度このような時期に理学部同窓会の会長という責任ある職を務めさせていただいておりますことには、一入の感慨を覚えます。

その理学部同窓会は、現在7,000名近い会員を有し、規約にあります会員の親睦を図り、母校の発展に寄与することを旨に、役員諸氏の弛まぬ努力により種々の事業を円滑に進めさせていただいております。

また、今期は魅力ある同窓会づくりというテーマに加え、本会の基盤整備の一環として、総会構成員のあり方といった大きなテーマにも取り組もうと思っています。前者は衛生学部と理学部という2つの出身学部を有する本会にとって、世代の違いを乗り越えた魅力ある新しい理学部同窓会の礎を構築するという、きわめて難しい問題であり、後者は衛生学部創設期の代議員が高齢化してきたことを機に、会員の皆さまを代表して総会で議決権を行使できる代議員制度の見直しを図ろうとするものです。

同窓会は、前述のように会員の親睦と母校の発展に寄与することを旨とする親睦・支援団体であり、学部や大学に意見をもつ申す圧力団体ではないと認識しております。もちろん異論をお持ちの皆さまもおおいでかとは思いますが、私たちはそのような観点から、同窓生のため、後進のため、そして理学部のために限りある予算と時間とエネルギーを使い会務を遂行しております。

母校が創立50周年を迎えた今、さらなる母校の発展のために私たち同窓生が果たすべき役割を一人ひとりが考え、それらを集約して同窓会活動が運営できれば、それに勝るものはありません。皆さまの一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



新任のご挨拶

生物科学科分子発生学講座教授 木村 透

この春に、大阪大学の医学系研究科・生命機能研究科から、生物科学科・分子発生学講座に着任した木村透と申します。前任の花岡和則先生は、日本の発生工学のパイオニアであり、優秀な人材をたくさん社会に送り出してこられました。その研究室を引きつぐのは、気が引きしめる思いです。北里大学の発展に貢献できるように頑張ってみます。同窓会の皆さま方にはお世話になりますが、ご指導・ご鞭撻をたまわりますよう宜しくお願い申し上げます。

わたしは、昭和41年（1966年）、大阪市に生まれて、大阪大学の理学部・生物学科を卒業しました。大学院も、阪大の理学研究科に進学し、谷口維紹先生（現・東京大学）のご指導のもと、博士号を取得しました。大学院では、インターフェロンがもつ抗ウイルス作用を、ノックアウトマウスをもちいて研究しました。その後、東京医科歯科大学・医学部の山本直樹先生（現・シンガポール大）の研究室で、エイズの原因ウイルスであるHIVの研究をおこないました。

このように、わたしの研究者としての人生は、本学ともゆかりのふかい、免疫学やウイルス学の研究からスタートしました。ところが、大学院生のとき、カナダのトロント大学で研究するチャンスを与えていただいたときから、人生は変わり始めていたようです。トロント大学では、Tak Mak先生の研究室で、ある特定の遺伝子のはたらきを破壊したマウス（ノックアウトマウス）をつくる技術を学びました。このノックアウトマウスをつくる時に使うのが、ES細胞（胚性幹細胞）と呼ばれる、わたしたちの身体のすべての細胞に分化することができる幹細胞だったのです。そのころから、“全能性”と、それを生み出す“生殖細胞”に興味をもちはじめました。

その後、Tak Mak先生のラボで知り合った野徹先生にお誘いいただき、医科歯科大から大阪大学に戻りました。大阪大学では、現在の研究テーマである「生殖系列と幹細胞システムの成立機構」の研究をはじめました。生殖細胞は、受精卵という全能性の細胞をうみ出す細胞系列であり、精子や卵子をつくる過程では“初期化”がおこります。わたしは、生殖細胞がもつ全能性のメカニズムを研究し、その成果をES細胞や組織の幹細胞の研究へと展開してきました。生殖細胞でおこる“自然な（正常な）”初期化を、iPS細胞をつくるときにおこる“人工的な（無理やりな）”初期化と比べることは、再生医療の観点からとても大切です。これからも、生殖細胞と初期化をむすびつける研究を、さらに発展させたいと考えています。

本学では、学生や教員のみなさんと切磋琢磨しながら、教育と研究に精進してまいります。学部生や大学院生には、研究の楽しさと厳しさを、実体験として理解してもらえるように指導していきます。どんな仕事でもそうですが、教育や研究でも、日々の努力を重ねた結果として、達成感や喜びを得ることができます。将来の自分をつくるのは、いまの自分の努力以外にはない、ということを実感してもらうことで、企業や教育、研究という“実際の社会で生きぬく”体力と知力と精神力をもつ学生や教員を育てたいと思います。また、ほかの大学や研究所の方々と交流してもらうことで、決して内向きにならずに、学内外で切磋琢磨できる仲間をつくっていくことが、とても重要だと考えます。

以上、わたしの略歴と着任にあたっての心構えを書かせていただきました。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



退任のご挨拶（遅ればせながら）

北里大学名誉教授 花岡 和則

皆様ご無沙汰しております。早いもので昨年3月31日付けで定年退職してから11ヶ月が過ぎ去りました。この小文は、本来退職に伴う挨拶として同窓会から依頼を受けたものでしたが、退職に伴う雑務に紛れ、また私の怠慢により今に至ってしまったものであり、同窓会の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しました。誠に申し訳ありません。

衛生学部から分離独立して発足した理学部の教授として平成6年に赴任して以来、19年間の北里大学での毎日は、私の人生の中でも最も楽しくまた充実した期間であったと思います。北里に来る前には、コーネル大学でポストドクとして2年間、名古屋大学で学振奨励研究員として1年、三菱化成生命科学研究所で6年半、国立精神神経センターで7年半、研究に従事してきましたので、考えてみると北里大学での期間が最も長いのですが、体感時間としては最も短く、あっという間に過ぎ去った気がしています。赴任した当時は、今のS号館がある場所はグラウンドで、理学部の教員は衛生学部A1号館やA2号館に仮住まいの状態でした。私と同時に赴任した高橋淑子さん（講師後に助教授・現在京都大学理学部教授）と船山典子さん（助手・現在京都大学理学部准教授）及び当時衛生学部4年生で分子発生学講座に配属された石川亜紀、松本和幸、伊藤雄一の3人の卒研究生とともに始まった北里での最初の年のことは、細かいことまで懐かしい思い出として今も鮮明に記憶に残っています。私を含め3人のスタッフは全員、大学での教員の経験は全くなく、よくわからないまま講義や実習が始まりました。高橋さんの発案で教科書はGilbertのDevelopmental Biologyに決め、発生学では図や写真が多いので板書は効率が悪いと考え、プリント中心の授業にしました。切り貼りして作った当時のプリントを今眺めるといかにも手作りという感じです。また衛生学部事務室の横にあった印刷機がしょっちゅう故障してその頃の学生には何度もお迷惑をお掛けしたことを思い出します。その後、S号館が完成した頃からはOHPを使った授業を行っていました。その当時、特別講義をお願いしていた神戸大学医学部の寺島俊雄先生のOHPを巧みに使った講義に感銘を受けて、その真似をしたのですが、先生の域にはついに達しませんでした。その後、IT機器の発達とともに液晶プロジェクター中心の授業になり、またカラー印刷機が導入されてからはプリントもカラフルになりました。講義の内容も毎年少しずつ変えていったので、初期のものとはずいぶん変わって、自分で言うのも何ですが

多少はあか抜けたものになったと思います。このようにわかりやすい講義になるよう精一杯努力はしてきたつもりです。しかし、途中からそれが良いことかどうか疑問をもつようになってきました。わかりやすい講義が本当によいことなのか、わかりやすく無駄のない講義が良いのであれば、NHKの放送大学が理想の講義ということになりはしないかと思ったからです。自分の学生時代を振り返っても、研究では非常に高名でしたが、講義は退屈だという評判の教授がいました。何しろ、授業中に大あくびをした学生が顎の骨を外して救急車で運ばれたという伝説がありました。確かに退屈な授業ではありましたが、何十年かたつとその講義が一番心に残っていたりします。つくづく教育というのは難しいと思います。ましてそれを評価することは不可能に近いと思います。だんだんととりとめない話になってしまいましたが、結論として、拙い私の授業を熱心に聞いて頂いた多くの学生諸君には心から感謝しています。また、私の講義を聴講した多くの卒業生が、科学の世界であるいは社会の第一線で活躍しているのは本当に嬉しい限りです。

北里大学理学部はまもなく設立以来20年目を迎えようとしています。最近では、どの学会でも本学の卒業生に出会わないことはまずありませんし、思いがけないところで声を掛けられる機会も多くなってきました。それに伴い、社会からの本学に対する評価も高くなってきたことを実感として感じています。これも偏に、卒業生・在校生の諸君の卒業研究での、大学院での、あるいは社会に出てからの努力と優れた成果によるものと心から感謝しています。北里大学理学部の特色として、教員と学生の距離が近いという点があげられます。国家試験の制約のない理学部は、実験結果について、あるいは学問について、教員と学生が自由に思考し自由に議論できる点が持ち味であり、このような体験は社会に出てからも必ず役に立つというのが我々の信念でもあり、理学部開設の理念です。今後この方向で北里大学理学部がますます発展するものと確信しています。皆様のこれからの発展と成功を心から祈っております。とりとめない文章になりましたが私の挨拶とさせていただきます。またどこかでお会いすることもあると思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

（付記）平成6年に初めて会った学生のひとりでもある秋本護君には、この原稿のことで大変お手数をかけました。



平成25年度理学部同窓会定期総会報告



平成25年度理学部同窓会定期総会が5月18日(土)、相模原キャンパスS号館(理学部)3階セミナー室に於いて開催されました。総会の詳細および最新の同窓会情報はHP (<http://homepage1.nifty.com/kusaa/index.html>) に於いて提供しています。

出席者: 46名(第1号議案の1名、第2号議案の3名を含む): 長原勝彦(1HC)、坂口洋、櫻井典子(2HC)、竹澤美男(4HC)、中野勝雄(5HC)、沼上清彦、小沼和久(6HC)、麻生綱男(8HC)、石川一郎(9HC)、國香清(11HC)、藤本玲子、氏家重夫(12HC)、内田宏(14HC)、須貝昭彦(18HC)、八井田文子(19HC)、甲斐恒人(20HC)、鈴木芳弘(21HC)、椎名文乃(24HC)、竹尾文彦(26HC)、千葉貴子、佐藤康之(28HC)、渡辺知広(30HC)、前川敏郎(4HB)、福山勝也、村上裕章(31HC)、細江裕子(5HB)、石原稔(32HB)、井村幸介(6HB)、桑原美保子(1SP)、中野章代(3SC)、藤井祐介(4SC)、田村啓(4SB)、三浦慎一郎(5SB)、國廣喜央司(6SP)、大滝正訓(7SP)、松本俊英(8SP)、荒木恒平(9SC)、今村敦(10SP)、齋藤昂良(10SB)、小林宣文(11SP)、曾根靖人(11SC)、石毛達也(12SB)、厚木将志(13SC)、上村和豊(13SB)、杉本愛(15SP)、藤川圭太(16SB)

委任状提出者: 46名(第1号議案迄の2名を含む): 岡本義久(1HC)、加藤武彦(2HC)、西尾公男(3HC)、山岡輝昭(4HC)、石水和田夫(10HC)、蓮沼良一(11HC)、島崎道弘(12HC)、衣川佳美(13HC)、森孝之、根岸恵一(14HC)、星名達行(15HC)、伏見尚登(16HC)、山田淳(17HC)、立松佐吉(18HC)、小泉博之(22HC)、山下宣行(23HC)、小笠原正勝(25HC)、櫛部一彦(26HC)、長谷部浩司(27HC)、木村武俊、伊藤昌史(1HB)、坂内健志(2HB)、吉田奈美(29HC)、矢口晶、秋本護(4HB)、吉野典利(32HC)、酒井利奈(1SP)、中條総子(1SC)、吉瀬晴子(1SB)、平山幸司(2SP)、江島史緒(2SB)、矢野太一(3SC)、福島唯実(4SC)、吉本真紀子(4SB)、東海林周平(6SC)、佐々木千明(6SB)、千ヶ崎裕介(7SC)、吉野成嗣(7SB)、森口友敬(8SB)、田草川英昇(9SP)、岡田絵真(9SB)、富澤良弘(10SC)、高嵩美文(13SP)、神田章宏(14SC)、南川晴紀(16SP)、川崎貴之(16SC)

欠席者: 20名(第1号議案迄の1名を含む): 伊藤正善(6HC)、石原裕三(7HC)、飯島宏(20HC)、北村光宏(23HC)、嶋宮民安(3HB)、河合匡(2SC)、山本あゆみ(3SP)、小林琢也(3SB)、小林麻衣(4SP)、大西新(5SP)、田辺由美子(5SC)、武者孔佑(7SP)、鈴木健太郎(8SC)、石村早紀(11SB)、奥田悠介(12SP)、上村勇介(12SC)、保住厚兵(14SP)、新山勇人(14SB)、田中雅史(15SC)、新井慧(15SB)

<第2号議案終了後、総会構成員数は109名>

1. 開会の挨拶

司会の村上理事(31HC)から、規約第15条第2項より、総会構成員数107名に対して1/3以上の出席があり、総会が成立することが報告され、開会を宣言した。



2. 議長団の選出

議長に福山代議員(31HC)、副議長に内田理事(14HC)、議事録署名人に藤本理事(12HC)、八井田代議員(19HC)、書記に中野理事(3SC)、藤本理事(12HC)が全会一致で承認された。

3. 沼上同窓会会長挨拶

沼上会長(6HC)から、日頃の同窓会活動への理解と協力に対する感謝の言葉が述べられた。北里大学の厚生労働科学研究費補助金に係わる不正受給に対する説明と報告、周年記念イベント“Kitasato100×50”に関連して寄附のお願いと関連グッズなどの紹介が行われた。本会ではこのイベントに同期して「カミングホーム2013」を開催することが述べられた。また総会構成員のあり方についての見直しも検討課題として考えている旨が伝えられた。

4. 報告および決議事項

★報告事項

- 平成24年度事業報告および平成24年度収支決算報告の件
千葉事業担当副会長(28HC)から平成24年度事業報告を、また須貝財務担当副会長(18HC)から平成24年度収支決算書に沿ってそれぞれ報告した。
- 監査報告の件
坂口監事(2HC)から、平成24年度の監査結果が正確かつ妥当との報告があった。
平成24年度の事業、決算および監査報告が全会一致で承認された。

★決議事項

- 第1号議案 新代議員選任(3名)の件
沼上会長から、南川晴紀氏(16SP)、川崎貴之氏(16SC)および藤川圭太氏(16SB)の新代議員の提案があり、選任された。
- 第2号議案 代議員交替の件
沼上会長から、坂口洋氏(2HC)、小沼和久氏(6HC)および石原稔氏(32HC)への交替代議員の提案があり、選任された。
- 第3号議案 監事交替の件
沼上会長から、村上裕章氏(31HC)への交替提案があり、選任された。
- 第4号議案 平成25年度事業計画案および第5号議案 平成25年度予算案の件
千葉副会長から平成25年度事業計画案、また須貝副会長から平成25年度予算案に沿ってそれぞれ説明が行われた。
質疑応答後、全会一致で平成25年度事業計画案および収支予算案が承認された。

平成25年度事業計画

- 会報の発行
同窓会報第17号(通算43号)を平成26年1月に発行する。
- 学部教職員との懇談会の開催
学部教職員との懇談会を平成25年7月20日(土)に開催する。



- 3 会員集会援助の継続
同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一主旨の会への援助は年1回までとする。
- 4 ホームページの更新
新しい情報を会員へ提供するため、ホームページをリアルタイムに更新する。
- 5 会員情報の管理
本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。
- 6 第19回就職ガイダンスの開催（理学部との共催）
平成25年10月26日（土）に理学部3年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。
- 7 北里大学同窓会講演会の開催
北里大学同窓会講演会（医学部同窓会担当）に協力する。
- 8 学部への寄贈
寄贈図書：10万円相当の学生（準会員）利用図書を学部図書館へ寄贈する。
- 9 第8回「卒業研究功労賞」の表彰
卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。
- 10 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）
卒業記念パーティーに祝い金を持参する。
- 11 「カミングホーム2013」開催（北里OB教師の会との共催）
平成25年9月21日（土）に、北里OB教師の会との共催で、教職を希望する在学生の就職支援や教職にある卒業生と理学部との相互理解などを目的としてカミングホーム2013を開催する。

平成25年度予算

<収 入>

費 目	H25年度予算	H24年度予算
学 部 還 元 金	4,979,000	4,740,000
年 会 費	390,000	390,000
会 報 補 助 金	338,000	328,000
利 子	4,000	4,000
前 期 事 業 資 金	0	250,000
雑 収 入	0	0
積 立 金 戻 入	400,000	0
繰 越 金	1,116,459	939,063
合 計	6,651,063	6,651,063

<支 出>

分類	費 目	H25年度予算	H24年度予算
運 営 費	会 議 費	1,450,000	1,200,000
	事 務 局 費	1,630,000	1,560,000
	渉 外 経 費	300,000	300,000
事 業 費	集 会 援 助	200,000	200,000
	会 報	1,300,000	1,300,000
	就 職 ガ イ ダ ン ス	400,000	400,000
	教 職 員 と の 懇 談 会	250,000	250,000
	学 部 へ の 寄 贈 品	100,000	600,000
	講 演 会 協 力 費	100,000	100,000
	卒 業 研 究 功 労 賞	240,000	200,000
	ホ ー ム ペ ー ジ	40,000	40,000
	カ ミ ン グ ホ ー ム	650,000	50,000
	準 会 員 支 援	150,000	150,000
積 立 金	0	0	
次 年 度 事 業 資 金	250,000	0	
予 備 費	167,459	301,063	
合 計	7,227,459	6,651,063	

主な質問・要望・提案と回答

Q-1：國香代議員（11HC）から、年会費の必要性和コンビニなどの振り込みができないかとの質問があった。

A：沼上会長から、学部還元金は学部入学者数に依存するため

収入はほぼ一定である。しかし、本会会員数は年々増えていくため年会費収入が必要である。コンビニなどの振り込みは全学同窓会でも最近導入されたので、本会でも今後検討していきたいと説明があった。

Q-2：三浦代議員（5SB）から、①他大学へ異動した若手の先生へも会報を送ることができないか、②会員に周知してもらうため理学部HPからのぶらさがりでなく同窓会としてのHPを向上して欲しい、③理学部HPは更新が少ない上、スマートフォンではリンク先を見ることができない、改善を同窓会から働きかけることはできないか、④会員から推薦図書を寄附することはできないか、との質問および要望があった。

A：沼上会長から、①個人情報保護法により、同窓会の意向だけでお送りできない現状があり、発送できない、②大学と同窓会のHPはサーバーが違うので同窓会を検索すれば直接見ることができる。同窓会HP上で掲示板などの会員同士の交流ができればいいが、今そのケアができる状況に至っていない、今暫く一方通行の情報提供となってしまうが、リアルタイムに行っていきたい。長期的にみて今後の課題としたい、③理学部の先生方へ直接要望して欲しい（総会終了後に学部側へ要望された）、④提案として今後検討していきたいと説明があった。

Q-3：小林代議員（11SP）からカミングホームについて、会員にはアカデミックで活躍している方もあり、教師だけでなく研究者に対してもカミングホームを開催してはとの提案があった。

A：沼上会長から、今年度は教師を対象として行うが、本会員と準会員とが接する機会を設けるため、今後検討していきたいと説明があった。

また、松本代議員（8SP）から集会援助について、麻生代議員（8HC）から卒業研究功労賞について、藤井代議員（4SC）から寄贈品についてなどの質問があった。

5. 議長団の解任および閉会の辞

村上理事から、議事の終了が宣言され、議長団が解任された後、閉会を宣言した。

※総会終了後、学部から真崎学部長、米田物理学科長、弓削化学科長、太田生物科学科長、高松就職指導委員長ならびに渡辺事務長に出席頂き、学部・各学科・就職などの近況報告を頂きました。その際、代議員から学部のHPなどについて要望がありました。

理学部校舎前にて先生方と記念撮影後、懇親会場に移動し、学部の先生方を交えて総会出席者が和やかに歓談し、交流を深めました。

なお、今回の総会は、委任状提出者を含めた出席者数が昨年より10%も向上し、総会構成員総数の83%に達して、活発な意見交換が行われたことを付記します。

平成25年度年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動のために平成25年度年会費の納入をお願いします。

年会費：3,000円； 納入方法：郵便振替

口座番号：00260-9-60155

加入者名：北里大学理学部同窓会

★お知らせ★

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。



理学部教職員と同窓会役員との懇談会開催



「平成25年度理学部教職員と同窓会役員との懇談会」が7月20日（土）に開催されました。理学部から、真崎学部長（分子機能化学講座教授）、米田物理学科長（生体分子動力学講座教授）、弓削化学科長（分子構築学講座教授）、太田生物科学科長（生体機能学講座）、高松就職指導委員長（生物情報科学講座教授）が、事務室からは、長谷川事務長（医学部事務室から7月1日付け着任）および田中課長補佐が出席され、同窓会からは、沼上会長を含めた役員11名が出席しました。

当日は北里大学進学相談会の「第1回オープンキャンパス」が相模原キャンパスに於いて開催され、理学部の体験入学も同時に開催されたため、理学部の教職員には忙しい中を出席いただいた次第です。

沼上会長の開会挨拶後、真崎学部長から学部近況報告を、米田、弓削、太田各学科長から各学科の状況などを、高松就職指導委員長からは就職状況に関してそれぞれ説明いただきました。更に長谷川事務長から着任の挨拶と本会の活動についての謝辞がありました。

同窓会からは、沼上会長が今期の抱負、千葉事業担当副会長から「平成25年度事業計画」の概略説明、また10月26日（土）開催の学部との共催である「就職ガイダ

ス」について、甲斐就職ガイダンス担当理事から進捗状況の報告を行いました。これに関連して田中課長補佐から就職ガイダンス実施要領案についての説明がありました。9月21日（土）開催の「カミングホーム2013」については、須貝担当副会長から開催趣旨と当日の実施要領について説明を行いました。

この後、定期総会で代議員から要望があった事項など種々のテーマについて懇談が弾み、今年の懇談会も終始和やかに活発な意見交換が行われたことを報告します。



卒業研究功労賞

平成25年3月21日（木）、ANAインターコンチネンタルホテル東京において、北里大学理学部卒業パーティーが開催され、本会会長より第6回卒業研究功労賞の表彰が行われました。

『卒業研究で得たこと』

17SC 伊藤 麻衣

私は3年生まで何が学びたいのか、何のために学校に来ているのかがはっきりしないまま大学に通っていました。卒業後には化学とはかけ離れた歌や芝居の専門学校に行くことも決めていたので、4年生ではただ単純に少し興味があった量子化学の研究をしてみようと理学部化学科分子構造学講座、松沢英世先生の元で卒業研究を行いました。これまでとガラッと環境の変わった研究室での生活に初めは慣れず、さらに自分の研究のテーマを理解することや



実験にも苦戦し悩むことが多々ありました。ですが、分からない事を一から調べ色々実験していくうちに

研究が楽しくなり、あれはなんだろう？これもやってみよう！等、自分の中からたくさんの興味が湧いてきました。3年生まではどうしても“やらされている”と感じていた勉強でしたが、4年生では自らやりたくて“やっている”勉強に変わり、毎日がとても充実していました。私の実験は失敗続きで何度もくじけそうになりましたが、いつも先生や先輩方、そして同期のみんなが助けてくれたので最後までやり抜くことができました。本当にありがとうございました。卒業式の日この賞をいただいた時はとても嬉しく、卒業研究を一生懸命やって良かったと思えました。

現在は専門学校にて毎日歌や芝居の稽古に励んでいます。化学と直接的な繋がりはない世界ですが、4年生の時にどんなに失敗しても必死に研究し続けた日々を思い出すとこちらでも頑張れます。卒業研究では自分の求める結果を出すことは出来ませんでしたが、その代わりに何度失敗しても諦めないでやり続けることの大切さを私に教えてくれました。この経験が今の生活の中でもとても生かされています。これからは自分の夢に向かって精一杯頑張ります。

最後にこれまで支え続けてくれた両親、先生、先輩、同期の仲間たちにこの場を借りて感謝致します。

就職ガイダンス

平成25年10月26日(土)、L1号館41講義室において、理学部3年生、修士1年生を対象とした就職ガイダンスが開催され、講演と模擬面接が行われました。模擬面接は、初めて集団面接が実施され、第一グループが学部3年生の4名、第二グループが修士課程の4名に対して行い、その後面接担当者から講評をいただきました。

主講演：「科学映画をつくっています」
株式会社アイカム 寺山いずみ氏 (1SB)

ミニレクチャー：「エントリーシートの書き方」
株式会社シミックエムピーエスエス
藤田嘉一氏 (17HC)、同原輝享氏

模擬面接・講評

株式会社シミックエムピーエスエス
教育研修事業部マネージャー 藤田嘉一氏 (17HC)
株式会社シミックエムピーエスエス
教育研修事業部マネージャー 原 輝享氏
GRIトレーニング&コンサルティング株式会社
代表取締役 松下純也氏

『模擬面接から得られたこと』

16SB 岡村 瑠美



今回のガイダンスで、模擬の集団面接に参加させて頂きました。今まで集団での面接経験がなかったため、本番前に1度体験出来たことは大変良い経験になったと思っています。実際の人事の方が面接官を下されたことと、100人の学生の前で実施されたこともあり、個人練習では味わうことのできない緊張を感じられました。面接に対する度胸が少し身に付いたと思います。また、自分以外の学生の面接に臨む姿勢や受け答え、様々なアピール方法を見ることで多くの刺激を受けました。面接中に感じた他の学生の良い部分や、終了後の面接官の方からのアドバイスから、さらに成長すべき点を知ることが出来ました。

面接だけでなく、人事の方に自己紹介書の添削をして頂いたことにも感謝しています。ここで書き方を学べたこと、自己分析や企業研究の深さがいかに自己紹介書に

反映され、就職活動を行うにあたり大切であるということに早く気付くことが出来て良かったと思います。

今回参加することで、人事側の考えていることを知り、自己紹介書の書き方を学ぶことが出来ました。今の自分に足りない部分に気づくことが出来たので、それらを克服し、就職活動に活かしていきたいと思っています。



理学部への寄贈品について

本会から理学部へ、毎年10万円相当の図書を寄贈しています。準会員である理学部の学生が利用できるように、学部からの希望図書をお贈りしている状況です。

もし会員の皆さまから、学生にぜひ読んで欲しいお勧めの図書がありましたら、同窓会事務局までご要望下さい。

また、本会および理学部との協議の上、ご要望いただいた図書を寄贈できない場合もございます。予めご了承下さい。



カミングホーム 2013

平成25年9月21日(土)、相模原キャンパス理学部校舎において、現在教職に就いている北里大学卒業生を招き「カミングホーム2013」を実施しました。
(共催：北里OB教師の会、協力：教職課程センターならびに海洋生命科学部)

「母校の発展と 後輩たちの夢の実現を願って」

北里OB教師の会会長・相模原市谷口中学校
4HC 竹澤 美男



2013年9月21日、同窓会と本会共催による「カミングホーム2013」が5年ぶりに開催されました。

理学部、及び海洋生命科学部の広報と相互の協力、教職課程履修学生への情報共有等の支援を目的としたもので、この主旨の企画は、3回目

となりました。

両学部教員との懇談会での、学部の説明、教職課程の取り組みと現状、施設見学、教職希望学生との懇談会、懇親会によって構成されました。

両学部、及び教職課程の現状と取り組みの紹介に続いての施設見学では、水族館、学生のアイデアによる教材等、興味深いものに多々接することができ、母校の発展を実感することができました。

教職希望学生との懇談会では、先ず、参加された学生の皆さんの真剣な眼差しに、若い知性の無限の可能性と教員を目指す決意の確かさを感じ、嬉しく思いました。

小中学校・高校の教師を目指す場合、理科教育や進路指導の現状等について、報告と質疑応答が活発に行われました。

教材・教具・実践例の紹介、文章によるアドバイスも含め、教職を目指す学生の皆さんの学習意欲の向上、教職に就くための情報共有と支援の点で、多少なりとも貢献できたこととすれば幸いです。尚、時間的制約等によって、学生さん達からの質問、要望などに対して十分に対応できなかった部分につきましては、申し訳なく思いますが、必要な対応も、可能だと考えております。

学生さんから、「教育学部出身とその他の学部出身の違い」について、質問がありました。私達北里大学出身の教師に対する、大いに意義のある問い掛け、あるいは課題定義とも受け止めたいと思いました。当日の質問への応答に加え、更に具体的回答を求めれば、それは、厳しさを増す教育現場にあるOB、OG教師の日常実践の中にあるのかもしれません。

小中学校・高校生達に寄り添い、生徒達の中に立ち、それぞれの専門性を発揮しながら、真摯に教育活動を展開している北里OB、OG教師達の実践によって、その回答が、より豊かに、導き出されているのだと考えます。私自身、今回、おいでいただいた北里OB、OG教師の皆さんのお話、実践から、多くの事を学ばせていただきました。

教師を目指す学生の皆さんには、ぜひとも教職に就き、知性と専門性をさらに磨き、北里出身の教師ここにありの姿を見せて頂きたいと思えます。

自分の尊敬する教師が北里出身であることを知り、北里大学への進学を決めた生徒の話も伺うことができました。生徒達が、進路選択する時、抽象的に進学先や就業を取捨選択するのではなく、人との出会いの中で得た幾多のモデルの中から自分にマッチしたもの、ロマンを託せるものを選ぶのかも知れません。

この「カミングホーム2013」の成功が、理学部、海洋生命科学部の先生方、理学部同窓会と本会の協力・共同によって、成し遂げられたことに、特別の意義があったと考えております。学部の先生から、現役教師に対して、研修等の支援を頂ける旨の話をいただき、大変心強く思い、心より感謝しております。

末筆になり恐縮に思いますが、沼上会長をはじめとする理学部同窓会のスタッフ、両学部の先生方、母校の発展と後輩達の夢の実現に役立てればと、多用の中おいでいただいたOB、OG教師の皆さん、本企画の成功のためご尽力いただいた全ての皆さんにご御礼申し上げます。



プログラム

1. 理学部、海洋生命科学部との意見交換会
2. 教職センター／海洋生命科学新校舎見学
3. 教職希望学生との懇談会
4. 懇親会



授業づくりと教材・教具の工夫

小田原市立城南中学校
2SB 大河 真二

9月21日に行われた「カミングホーム2013」に初めて参加させていただきました。教職に就いて10年目の自分がどの程度お役に立てるかわからない中、教育現場から



の教材・教具の紹介を担当しました。私が用意した「ジュエルポリマーを用いた反射・屈折の発展学習」「鏡像の中の迷路」

について、学生のみなさんも興味深く体験してもらいました（もしかすると参加されていた現職教員の先生方や大学スタッフの方々の方が興味津々だったかもしれません!?!）。ここで紹介したものは生徒の興味を引くものではありませんが、授業を組み立てるためには「教材・教具を工夫したものを、単元全体を考えた上でどのように扱うか」が大切であることを伝えました。

後半の懇親会でも、学生のみなさんから積極的に質問してもらいました。ただ、心配されていることの多くは生徒指導の大変さへの不安についてでした。どんな仕事もそうですが、初めからうまくいくものばかりではないので挑戦と学びの繰り返しです。「教員になりたい」という思いがこれからの自分を支える源です。また、今回のカミングホームのように、北里の卒業生教員が様々なところでサポートできると思いますので、遠慮無く頼ってください。現場でお会いできることを楽しみにしています。

教員という職に対して

化学科3年 鈴木 陽平



今回のカミングホーム2013に出席して教員という職に対する認識が深まりました。現場で働いている皆さんの生の声というのは、大学での座学とは違うリアリティがあった。例えば、授業では信じられ

ないと思っていた生徒の問題行動や保護者への対応が実際に起きているということを知ったことである。また開発教材についての模擬授業も大変参考になった。身の周りにある安価なものだけで視覚的にわかりやすく、興味を引くことのできる教材を作れるということにすごいと思った。だが、それ以上に印象に残っているのは、私たち学生だけでなく同席の先生方も身を乗り出して見ていたことだ。このような姿勢こそ教員に必要なことなのだと身をもって感じる事が出来た。

各県の採用状況の違いや、公立と私立の違いなど疑問に思っていたことを伺うことが出来たが、自分の考えの甘さを大きく感じた。教職志望者のためのこのような会は毎年開かれるわけではないようで、3年という一番良い時期に開催され運が良かったと思う。今回の貴重な体験を機に、ただ漠然と教員を目指すということではなく、今何をすべきかを具体的に考え行動しなければならないと感じた。

参加して得たもの

物理学科3年 板橋 宗一



今回のカミングホームは私にとって貴重なものとなりました。カミングホームに参加して教師の方と直接話す機会を得た事が一番大きかったと感じているからです。

カミングホームに参加する前にも、多くの方は教師と話されたことがあるでしょう。しかし、それは多くの場合、生徒として教師と話したことがある、というものであって「教師になるぞ」と強く思いながら話された方は少数だと思います。さらに大学の教職課程で教育に関することを学び、知識を身につけた状態で見ると、生徒時代の教師とは違った部分を見る事ができ、貴重な事が多くなるのではないのでしょうか。少なくとも、私は生徒であったときに比べ、現実の教師に対して色々新しい価値観や見方を得る事ができたと思っています。

もちろん、得られたことはそれだけではありませんでした。カミングホームに来訪された教師の方々だけでなく、カミングホームに参加した学生にも驚いた事があります。懇親会には食べ物や飲み物が並べられるのですが、会が終わってもなお、机の上には食べ物が残っていました。例えば来訪された方も参加した方も食事なんて眼中にないという感じで話しておられました。私も負けじとこれからも頑張っていこうと思います。

同期会報告

今年も白金で衛生学部化学科 6期生同期会を開催

6HC 上野 紀道

去る11月9日に衛生学部化学科6期生の同期会を白金本館「松実」で開催した。昨年に続いての開催だったが、出席者25人のうち10人は約20年ぶりに白金を訪れた面々であり、すっかり様変わりしたキャンパスに驚きも一入のことだったと思う。その白金キャンパスも来年末には再開発がはじまり、私たちの在学時からあって唯一残っ

ていた薬学部3号館（当時のE号館）も姿を消すことになる。

今回も鹿児島や島根、愛媛、大阪など遠方からの参加があり、一同が会するとすぐにおおよそ半世紀前に気持ちは立ち戻り、和気藹々と実に楽しく時間が流れた。

会の最後にこの先の同期会をどうするか協議した結果、2020年の東京オリンピックまで毎年開催しようということになった。これから7年間皆が元気で出席できることを約束したので、経過はまた会報で報告したい。

都合で、昨年、本年と来ることができなかった同期の方々、来年以降の出席を幹事一同、心から願っている。

それでは、来年の同期会までご健勝で！



集会援助手続

理学部同窓会会員集会援助をご利用ください

【集会責任者】

- (1) 集会援助申請書類の入手
(事務局に問合せ、又はHPからダウンロード)
① 会員管理システム利用申請書
② 集会援助金申請書

- (2) 申請書①に責任者3名の署名・捺印
- (3) 申請書①の提出（事務局へ持参、又は郵送）

- (4) 集会開催 ※

- (5) 申請書②および③訂正された会員データを提出
(事務局へ持参、または郵送)

- (6) 集会の様子を原稿にして同窓会にご連絡ください！（任意）

【理学部同窓会・事務局】

事務局の連絡先
〒252-0373 相模原市南区北里 1-15-1
TEL/FAX 042-778-9032
E-mail rigaku-d@nifty.com
ホームページ
<http://homepage1.nifty.com/kusaa/>

本会理事会での承認

申請のあった名簿一覧と郵送用タックシールの作成・提供

②、③を確認後、集会援助金を助成
(案内状印刷・郵送費として、200人までの集会では¥200/人、201人から¥100/人)

※援助を受けられる集会

- ① 同期会
- ② 参加者の60%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会
- ③ 医療衛生学部同窓会会員と合同で開催し、参加者の30%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会

活躍する同窓生

未来の科学者たち

ISC 井上 智香



私は、理学部1期生として化学科を卒業しました。大学で学んだ化学の知識を活かして環境に役立つことをしたいと考え、東京工業大学の大学院で化学環境学を専攻しました。大学院では、自然環境への影響を考慮した新しい農業技術の一つとして注目されている微生物を農薬として利用するための遺伝子解析を行いました。まだ解明されていない分野の研究は、失敗の連続ではありましたが、成功した時の喜びは今も鮮明に覚えています。

私たちの社会は科学によって発展し、その恩恵を享受してきました。理科=科学は一部の学術研究者の所有物ではなく、多くの人がその知識を自分のものにし、使い、活かすものです。理科の本当の面白さを知ってもらいたい。そう考えて私は教員の道を選びました。

非常勤講師を経て私立女子校の専任教諭となり、30名以下の少人数クラスで生徒たちと密に過ごしました。家族的な環境の中、カトリックの教えのもとで教育される生徒たちの多くは、真面目で従順でした。この学校で過ごした6年間、理科という教科指導以上に、親子関係をはじめとする家庭の問題や心の問題を抱える生徒に出会い、私自身が多くを学び、人は環境によって育てられることを改めて実感しました。

現在、麻布大学附属瀧野辺高校に赴任して4年目になります。本校では、持ち上がりで生徒たちを教えるため、今年の3月に送り出した生徒たちとは、3年間の付き合いになりました。時間をかけて生徒たちと向き合うことにより得られたものは非常に多く、私は、彼ら一人ひとりのために何ができるかを真剣に考えました。

前任校の温室で育った生徒たちと異なり、公立中学出身の彼らはいい意味で雑草のようで、かつ順応性がありました。明るく、人懐っこい彼らに感心したのは、2年次に修学旅行で小笠原諸島

に行ったときです。片道25時間の船旅—梅雨前線による影響から4mもの高波の中での航海、教員生徒共々船酔い者が続出しました。彼らは、船の中にいるしかない状況であることをきちんと理解し、受け止め、文句を言わず、各々耐えていました。その後の島での活動は、大きな事故が起こることもなく無事に終えられたのは、彼らの力によるところが大きいと思います。

本校は、理系の単科大学である麻布大学の附属校であるため、学年の6割以上が理系進学希望者です。理科を教える者としてはやりがいがあり、大変嬉しく思います。理学部出身者としては、理科を“学問”として学ぶ生徒を増やしたいと秘かに考えています。現在、多くの高校では、将来の目標—就きたい職業を定め、それを実現するための大学選びという進路指導を行っています。小子化や社会状況が大きく影響しているのだと思いますが、私は、大学は就職のための通過点ではなく、興味のある分野を学ぶ場所だと考えます。学問する面白さを知りその中で将来が見えてくる、そんな考え方があってもいいのではないのでしょうか。高校2年の文理選択の際に、「将来何をしたらいいかわからない」と助言を求めている生徒たちが、現在、理学部や工学部で充実した学生生活を送っています。彼らと過ごした3年間は、私に喜びと発見と希望をもたらしてくれました。

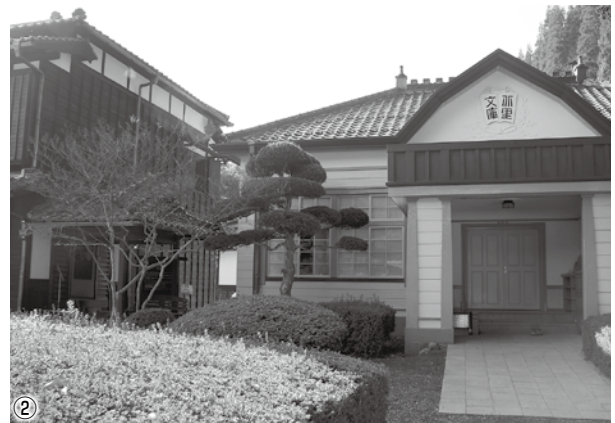
人は環境で育ちます。人は社会的存在であり、人との関係性の中でしか生きていけません。家庭、学校、社会、様々な環境の中で影響を受ける生徒たち。将来を担う彼らが、より理科—科学を好きになり、さらには科学を職業とするようになって欲しい。私は、そのきっかけを与えられるよう努めていきたいです。4月に中学生かと思うほど幼い子どもだった新入生も、半年を過ぎると高校生の顔をしてきます。また新しい3年間が始まりました。

北里柴三郎記念館に行ってきました

熊本県阿蘇郡小国町にある北里柴三郎記念館。昔からいつか訪れてみたいと思いつつ、なかなか機会に恵まれずにおりましたが、2014年の年明けにやっと行くことができました。

北里柴三郎記念館は、田畑や山並みが続く自然豊かな場所にあります。入り口を入ってすぐ目の前にある北里文庫は、故郷の青少年のために柴三郎先生が設立され、終戦時まで使用されていたそうです。その時の図書がそのまま今も残っており大切に保管されていました。現在この図書館を利用して先生の遺品が展示されており、昔のお写真や、ご兄弟に宛てた直筆のお手紙なども拝見することができます。賓客をお迎えした2階建ての貴賓館は、北里文庫設立と同時に建設されたものです。記念館の敷地は少し高台に位置しており、特に貴賓館2階からは窓いっぱい広がる湧蓋山

(わいたさん)の眺望を楽しむことができます(熊本県緑の百景にも選ばれたことがあるようです)。小鳥のさえずりや小川のせせらぎも相俟ってとても心落ち着く素敵な空間でした。桜咲く春、新緑の夏、紅葉の秋、雪化粧した冬、先生はどの季節が一番好きだったのでしょうか。その他にも先生の生家や、北里同窓会主催の生誕百五十周年記念行事で植樹された記念樹なども裏庭で見ることができます。出口付近にはお土産コーナーもあり、柴三郎先生がプリントされたTシャツなどのグッズが沢山ありました。焼酎の「柴三郎」を見つけることができなかつたのが心残りですが、今回は念願の記念館に来ることができ、先生と同じ景色を眺め、日本を代表する偉大な細菌学者北里柴三郎先生に少しだけお近づきできたような気がしました。



小国町の観光スポット

続いて小国町についてご紹介します。小国杉やジャージー牛が特産とのことで、道路脇には出荷用の杉の木が並んでいる光景が沢山見られました。道の駅「小国」ゆうステーションでは、濃厚なジャージー牛乳を味わうことができお勧めです。また、農産物も販売していますので是非お立ち寄り下さい。さらにその2階には観光案内所があり、とても親切に小国町を紹介して下さいます。北里柴三郎先生が故郷の英雄としてとても大切にされていること、地元の誇りとして称えられていることがひしひしと伝わってきて、北里卒業生としては感極まる思いでした。

案内所で教えていただいた観光スポットの中から、今回は2つの滝に行ってきました。まずは某お茶のCMのロケ地となったことで人気を集めている「鍋ヶ滝」です。ゆうステーションからは車で約15分。幅約20m、落差約10mの滝は圧巻です。浸食により滝の裏側からも鑑賞できる珍しい滝で、GWにはライトアップイベントがあるよう

です。駐車場から滝まで少し歩きますが、そこまでの道程を忘れさせるほどの絶景が待っていますので、ぜひ訪れてみて下さい。次に向かったのは「下城滝」です。こちらはゆうステーションから車で約10分。落差約40mの豪快な滝で、滝の上流を少し散策できる歩道があり、小さな吊り橋もありました。その近くには樹齢千年以上の国指定天然記念物の下城の大イチョウがあります。このイチョウ、枝から沢山のこぶが垂れ下がっていて、地元では「ちちこぶさん」と親しまれているとか。お乳の出が少ないお母さんがこのこぶを煎じて飲むとお乳の出が良くなるという信仰があり、秋には「ちちこぶ祭り」もあるようです。

近くには杖立温泉やわいた温泉郷もあり、ご家族でゆっくり休日を過ごすにはもってこいの小国町です。少し足を伸ばせば有名な黒川温泉（南小国町）もあります。同窓会の皆さまも、北里柴三郎先生の故郷を旅してみませんか。

3SC 中野章代



⑤



⑥



⑦

- ① 北里柴三郎記念館
- ② 右が北里文庫、左が貴賓館
- ③ 貴賓館からの景色
- ④ 柴三郎先生の生家
- ⑤ 小国町の人気スポット、鍋ヶ滝
- ⑥ 下城の大イチョウのすぐ近く、下城滝
- ⑦ 道の駅「小国」ゆうステーション

平成26年度 北里大学オープンキャンパス等日程

北里大学相模原キャンパスにおきまして、受験希望者や保護者を対象としたオープンキャンパス等を下記の日程で開催します。同窓会の皆様におかれましては、ご子弟、ご関係者の皆様にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

【オープンキャンパス】		○第2回 ※北里祭期間中	
○第1回	日時 平成26年7月19日(土)～20日(日) 10時～16時 実施内容 大学・学部概要説明、個別入試相談、シリーズ入試対策講座、施設見学、キャンパスツアー等	日時 平成26年11月1日(土) ～11月2日(日) 10時～16時	実施内容 大学・学部概要説明、シリーズ入試対策講座、講演会、個別入試相談、施設見学等
○第2回	日時 平成26年8月24日(日) 10時～16時 実施内容 大学・学部概要説明、個別入試相談、シリーズ入試対策講座、施設見学、キャンパスツアー等	【大学説明会】	
		日時 平成27年3月22日(日) 10時～16時	実施内容 大学・学部概要説明、シリーズ入試対策講座、個別入試相談、施設見学、キャンパスツアー等
【進学相談会】		※実施内容は予定です。	
○第1回	日時 平成26年10月5日(日) 10時～16時 実施内容 大学・学部概要説明、シリーズ入試対策講座、個別入試相談、キャンパスツアー、在学生との懇談コーナー等	理学部の実施内容については、理学部ホームページにてご確認ください。	

平成27年度 理学部入学試験日程

平成27年度（平成26年度実施）入学試験日程は以下のとおりとなっています。

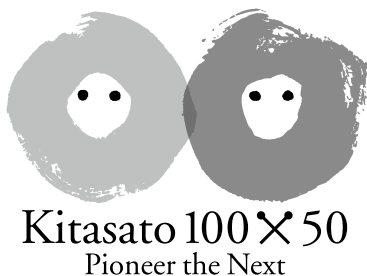
理学部では、生命科学の基礎分野で研究力を身につけた人材を社会に送り出すことを使命とし、充実した教育・研究を実施しています。これらの使命をさらに発展させていくため、北里大学理学部の志を受け継いだ同窓生のご子弟の方々の入学をお待ちしております。

公募制推薦	募集人員	物理学科 4名 化学科 10名 生物科学科 10名		
	試験日	平成26年11月15日(土)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成26年11月1日(土)～平成26年11月7日(金)		
	合格発表日時	平成26年11月21日(金)13時		
指定校推薦	募集人員	生物科学科 5名		
	試験日	平成26年11月15日(土)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成26年11月1日(土)～平成26年11月7日(金)		
	合格発表日時	平成26年11月21日(金)13時		
一 般	募集人員	物理学科 23名 化学科 55名 生物科学科 35名		
	試験日	平成27年2月3日(火)	試験場(3会場)	相模原キャンパス・大阪会場・仙台会場
	受付期間	平成26年12月17日(水)～平成27年1月23日(金)		
	合格発表日時	平成27年2月12日(木)13時		
センター試験 利(前 期)	募集人員	物理学科 10名 化学科 10名 生物科学科 15名		
	試験日	平成27年1月17日(土)・18日(日)		
	受付期間	平成26年12月17日(水)～平成27年1月16日(金)		
	合格発表日時	平成27年2月13日(金)13時		
センター試験 利(中 期)	募集人員	物理学科 10名		
	試験日	平成27年1月17日(土)・18日(日)		
	受付期間	平成26年12月17日(水)～平成27年2月9日(月)		
	合格発表日時	平成27年2月25日(水)13時		
センター試験 利(後 期)	募集人員	物理学科 3名 化学科 5名 生物科学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成27年3月4日(水)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成27年2月16日(月)～平成27年2月25日(水)		
	合格発表日時	平成27年3月11日(水)13時		

理学部事務室より

● Kitasato100×50 プロジェクト

2012（平成24）年、北里大学が創立50周年を、2014（平成26）年には北里研究所が創立100周年を迎えます。学校法人北里研究所は、これを契機に創立記念事業「Kitasato100×50 プロジェクト【未来科学の創造～Pioneer the Next～】」をスタート。様々な記念行事を行っています。



1. 記念式典が挙行されました

平成25年11月5日の北里研究所創立記念日に東京国際フォーラムにて、記念式典が挙行されました。著名な方々からご祝辞をいただき、校歌斉唱では、校歌の作曲・編曲者である千住 明氏の指揮のもと合唱しました。第二部として、ヴァイオリニストの千住真理子氏とソプラノ歌手の小林沙羅氏によるリサイタル、記念講演会「科学未来フォーラム」がおこなわれました。

2. 熊本県阿蘇郡小国町 北里柴三郎記念館を整備します

北里柴三郎博士が1916（大正5）年に建てた貴賓館及び北里文庫があった敷地に、1987（昭和62）年北里研究所、北里学園が中心となって生家を復元修復。遺品等を陳列し、小国町に寄贈したのが「北里柴三郎記念館」です。学校法人北里研究所では、平成24年度には生家の改修工事を完了させ、平成26年度には庭園等の整備を行い、全ての整備計画を終える予定です。

3. 北里大学校歌が完成しました

北里大学創立50周年を記念し、大学創立以来悲願でありました北里大学校歌「生命の北辰（いのちのほくしん）」【作詞・黛まどか、作曲・千住明】が完成しました。

スクールカラーの「紺青」から始まる校歌は、美しく壮大な旋律と、学祖の生涯と本学の理念が籠められた歌詞が見事にマッチし、北里大学が誇る素晴らしい校歌となっています。

4. 記念行事

他にも様々な記念行事が進行中です。詳細は100×50サイトをご覧ください。理学部同窓会の皆様のご参加をお待ちしております。

【記念事業ホームページ】

<http://www.kitasato.ac.jp/100x50/>

【特設Webサイト】

<http://kitasato-respectlife.com/>

北里大学校歌

いのち ほくしん
生命の北辰

作詞 黛まどか
作曲 千住 明

紺青^{こんせい}尽くす天穹^{てんきゆう}に ひとつの星を探^{たづ}ねごと
 白金^{しろかね}の地にひたすらに 学祖^{がくそ}が追^も求めし医^いの真理^{しんり}
 安寧^{あんねい}の世を築^たくため
 雷^{いかづち}のごと 貫^くいて
 拓^{ひら}きし道を 歩^あむ我^{われ}らぞ
 この学^{がく}び舎^やに励^{いた}みしを 風雪^{ふうせつ}に堪^たえいつの日^ひか
 月桂冠^{げっけいかん}を戴^{いた}きて 未^み来^{らい}につないでゆく叡^{えい}智^ち
 その絶^{ぜつ}巔^{てん}を極^{ごく}めんと
 切^き磋^そ琢^{たく}磨^まの 実^{じつ}学^{がく}を
 世^よに捧^たげるを 報^{ほう}恩^{おん}とせり
 暁^{あけぼの}告^つげる産^う声^{こゑ}は 牧^{まき}場^ばを渡^{わた}る風^{かぜ}に乘^のり
 白^{しろ}波^{なみ}立^たつるわだつみの 底^{そこ}にひしめく 命^{いのち}美^みし
 雨^{あめ}に照^ある日に 虹^{にじ}かけて
 天^{あめ}地^{つち}統^つべて 揺^ゆるぎなし
 ああ北^{きた}里^{さと}は 耀^あく北^{きた}辰^{しん}
 朝^{あさ}な夕^{ゆふ}なに とこしえに
 あまたの星^{ほし}を従^{したが}えて
 ああ北^{きた}里^{さと}は 生^い命^{めい}の北^{きた}辰^{しん} 生^い命^{めい}の北^{きた}辰^{しん}

● 講座名称が変わります

平成26年4月より、講座名称が変わります。

<物理学科>

生体分子動力学講座 → 生物物理学講座

<生物科学科>

生物情報科学講座 → 分子生物学講座

生体機能学講座 → 細胞生物学講座

分子発生学講座 → 幹細胞学講座

生体防御学講座 → 免疫学講座

● 平成26年度理学部入試が変わります

- ①一般入試の試験会場（地方会場）を、福岡会場から仙台会場に変更します。一般入試の試験会場は、相模原キャンパス、大阪会場、仙台会場の3か所で実施します。
- ②生物科学科の公募制推薦入試の出願資格を、学習成績全体の評定平均値が「3.7以上の者」から「3.5以上の者」に変更します。
- ③センター試験利用入試（併用）を中止します。

● 教材の貸し出しを行っています

教員となられた卒業生の皆様に、ニワトリ胚標本、透明骨標本セットを教材として貸し出しています。教科書で教える動物発生よりも後の段階となりますが、肉眼で観察できますので、生徒の興味を惹く素材としてご利用いただけます。

詳細は下記（学生係）までお問い合わせください。



● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援により、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたくよろしく申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

～母校・北里大学に足をお運びください～

毎年、11月の第1土曜日・日曜日に、北里祭が行われます。当日は進学相談会も同時開催され、理学部S号館も開放しております。また、相模原キャンパスは、大学新病院が竣工（平成25年12月21日）しましたので、大きく環境がかわりました。ますます進化していく母校を是非お訪ねください。

なお、理学部入試の過去問題、パンフレット等の頒布を行っております。詳細は北里大学ホームページ (<http://www.kitasato-u.ac.jp/>) をご覧ください。

お問い合わせ先

理学部入試に関すること

TEL 042 (778) 9172 (入試係直通)

FAX 042 (778) 9953

就職に関すること

TEL 042 (778) 8545 (学生係直通)

FAX 042 (778) 9953

大学院入試に関すること (理学研究科入試係直通)

TEL 042 (778) 9083

FAX 042 (778) 9953

【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様からも是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「進路・就職」から入力できますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も「進路支援システム」（現「就職システム」を平成25年3月末でリニューアル）がご利用できます。ご利用頂く場合には、ID・パスワードが必要となりますので、就職センターまでご連絡ください。

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745・9747
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「理学部パンフレット同封について」

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

「会報への寄稿について」

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽に寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

「同窓会へのメールについて」

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞
記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または
6HC 理学太郎

お詫び

毎年恒例記事として「近況報告バトンタッチ」を掲載しておりましたが、今回は都合により掲載することができませんでした。楽しみにされていた方々には大変申し訳なく、ここでお詫び申し上げます。このようなことが無いように今後は努めて参りますので、ご了承いただけますようお願い申し上げます。

編集後記

理学部同窓会会員の皆さまこんにちは。衛生学部生物科学科4期生の前川敏郎です。皆さまのご協力により、北里大学理学部同窓会会報第17号が完成しましたのでお届けいたします。ご一読頂ければ幸いです。会報発行に際しまして、お忙しい中ご寄稿頂きました方々にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

早いもので、学部を卒業してからもう20年が経とうとしています。相模原キャンパスも、当時からは想像がつかないような変貌を遂げました。相模大野駅周辺も再開発が進み、西側には大型複合施設が完成しました。学生の頃、コンパなどでよく行っていた飲み屋は、もうないかもしれませんね（いくつかは施設内に店舗を構えているようですが）。皆さまも機会があれば、相模原キャンパスや相模大野周辺を訪れてみてはいかがでしょうか？もちろん、同窓会総会やカミングホームへの参加もお持ちしております。

理学部同窓会では、会報に掲載する記事を募集しております。同期会・クラス会等の開催の際は、近況等を是非事務局までお寄せください。また、同窓会報につきましてご意見ご感想などございましたら、是非事務局までメールでお寄せ下さい。今後の紙面作りの参考にさせて頂きたいと思っております。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

北里大学理学部同窓会報

発行 平成26年2月28日
発行者 北里大学理学部同窓会
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032
E-mail : rigaku-d@nifty.com
責任者 沼上清彦



渋谷駅から徒歩1分のロケーションで
1974年からの歴史を持つトラットリア

ご予約

Access

Topics



誕生日の方にネーム入りホールケーキをお作りします。
ご好評をいただいています。
ご予約の際にお申し付け下さい。



歓迎会などに最適です！

お1人様 ¥ 5,000 ~ (2名様より) にて、フールドリンクつきのお得なおまかせパーティーコースを3種類をご用意しました。
詳しくはこちらよりご覧ください。



bel mare

前菜を中心にしたコースまたはパスタを中心にしたコース、メインの料理までのコースと色々をご用意しています。
前日または当日のご予約はお電話にてお願いいたします。



TEL: 03-3476-3681

お料理 (例) パーティーセット 3,750円~5,800円

ご予算でメインのお料理が変わります。

○アンティパスト3種

かものレバームース、仔牛の肩ロースの生ハム、キッシュタルト

Weekday 11:30 - 22:30 [Last Order 21:30]
Saturday 11:30 - 22:00 [Last Order 21:00]
Sunday 11:30 - 21:00 [Last Order 20:00]
Holiday 11:30 - 21:00 [Last Order 20:00]
Lunch Time 11:30 - 16:00

Tel 03-3476-3681 Fax 03-3463-0265
東京都渋谷区桜丘町24-2 第3富士商事ビル1F
全42席

@belmare_shibuya
http://facebook.com/trattoria.belmare



ベルマレの2号店「ベルマレカフェ」
渋谷文化総合センター大和田1F
40名~80名様のパーティーも承ります。



オーナーは衛生学部化学科2期生 木津 秀幸さん
北里大学卒業生にはスプマンテ(グラス)のサービス
があります。